

学校関係者評価委員会報告書

令和7年8月25日

札幌歯科学院専門学校

札幌歯科学院専門学校学校関係者評価委員会を開催し、学校関係者評価委員よりいただいた評価結果について、下記のとおり報告させていただきます。
各委員よりいただいた評価結果を踏まえ、本学院の教育活動、社会・地域貢献等の学校運営全般について、更なる推進と改善を図って参ります。

一般社団法人札幌歯科医師会立札幌歯科学院専門学校学校関係者評価委員会

開催日時	令和 7 年 8 月 25 日（月） 19：01～20：32
開催場所	札幌歯科医師会館 2 階 理事会室
出席者	学校関係者評価委員 房川 慈裕 委員長（房川歯科医院 院長） 江本 朋子 委員（江本会計事務所 公認会計士） 小林 元子 委員（一般社団法人北海道歯科衛生士会札幌支部支部 監事） 八重樫新一 委員（公益社団法人北海道歯科技工士会 相談役） 天道 紀子 委員（札幌歯科学院専門学校同窓会 会長）
	札幌歯科学院専門学校 山田 尚 運営委員長 尾崎 勝巳 学院長 菅原 史彦 副学院長 齋藤 格 総務部長 市川 智恵 歯科衛生士科教務主任代行 村上 珠緒 歯科技工士科教務主任 平田 学 事務長 木本 勝彦 次長 長土居香織 係長 高田 公一 係長

大項目	評価項目		評価（とても良い4 良い3 やや悪い2 悪い1）	自己点検評価内容	関係者評価
教育理念・目的	1	学校の理念,目的,育成人材像,本校の特色を生かした将来構想が定められ,生徒・関係業界等へ周知されているか	3. 6	教育理念・教育目標・教育方針に基づき、歯科医師会立校であることや歯科衛生士科・歯科技工士科を併設している等の本学院の特徴を生かした両科による合同授業、歯科医療界の需要に即した各授業内容の工夫により、歯科医療従事者の一員として地域歯科医療に貢献できる即戦力を目指す教育を実施している。 上記について高等学校等、学生・生徒・関係業界はもとより、札幌歯科医師会会員約 1,300 名に対しても学校案内等配布する他、HP 等にも掲載し、周知に努めている。	教育理念、目的に沿った運営や歯科医師会会立校として、歯科衛生士科、歯科技工士科を併設している特色を生かした教育を引き続き行い,学生から選ばれる学校となるよう、本学院の大きな特徴・特色について周知に努めていただきたい。
	2	各学科の教育目標,人材育成像は、学科に対応する業界の需要に向けて方向づけられているか	3. 6	歯科医師会立校として、現役歯科医師により指導しているほか、即戦力となる人材を育成するためのカリキュラムを組んでいる。日進月歩な歯科医療の需要に対応するため、各関係団体との連携情報収集などにより、時代に合った人材育成のための情報収集を行っている。	歯科衛生士科、歯科技工士科を併設している本校の特徴を生かした合同事業等では、チーム医療を学びながら行動力、技術力、総合的判断力や社会性を育てる教育を実施している。また、歯科医師会立として、各関係団体との連携は図られているものの、時代にあった人材育成のための情報交換等は積極的に進めていく必要がある。
学校運営	3	目的に沿った運営方針,事業計画,体制等が策定されているか	3. 4	本学院の運営方針、事業計画等については,運営委員会、教職員会等の各委員会にて審議、策定されており、その後、法人の総会において承認されている。	
	4	情報システム化等による業務の効率化や情報公開が適切になされているか	3. 2	一部文書の保管をデータ化することにより、迅速に共有・閲覧する等の整備を整えている.更なる効率化を図るための改善が必要であると考えている.年度末に情報項目を追加する等ホームページの更新を図り、学校情報や教育活動等について情報公開に努めている。	
教育活動	5	教育理念に沿った教育課程の編成,実施方針が策定されているか。	3. 5	教育理念に基づいたカリキュラムを編成しているが、両科とも急速に技術発展を遂げる歯科医療現場において就職後即戦力となり得る人材を養成するため、講座運営（シラバス、教材、運営体制等）の見直しを必要の都度行っている.医療人として社会貢献する人材育成のため、一般常識まで培うことが出来る教育方法を実施している.また、即戦力となる人材を育成するため,臨床実習施設へ協力・連携を図り、臨床実習を重視している.加えて、外部評価等による対外的な意見を反映することも必要だと考えている。	教育理念に基づいたカリキュラムを編成していますが、都度、定期的に検討、見直しを行う必要がある。特に医療人としての人材育成の観点から、両科とも時代に合わせたカリキュラム編成が必要であり、学校関係者評価委員会による評価結果、意見を反映させた策定も必要と考えている。 専攻科について卒後の技術向上に活用を検討することについて提案があった。
	6	職員の能力開発のための研修などが行われているか。	3. 5	外部研修の参加費用については学校で負担し、年に数回、全国歯科衛生士教育協議会・全国歯科技工士教育協議会が主催する研修会をはじめとする各種研修会へ出向させ、教員の資質向上に努めている.また、FD・SD 協議会へ加盟し、各種研修会へ参加できる体制を整えている。 年 2 回常勤職員に自らの目標を設定させ、当該目標の設定水準・目標達成度等を基礎として総合的に評価を行っている。	
教育環境	7	施設,設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3. 0	本学院会館増改築から 4 0 年経ち、設備面の劣化等が見込まれるため、会議等にて検討しており、適宜整備し、必要とされる環境整備に取り組み、教育環境を整えている。 令和 6 年度はアスベスト除去・焼却炉撤去工事を行い、会館のプレハブを撤去して学生の駐輪スペースとした。	デジタル技工については時代に必要とされる設備機材を取り揃えていることが確認され、また、建物については今後も経年劣化箇所については対応することが確認された。

学生募集	8	高等学校等の機関へ対する情報提供の取組が行われているか	3. 8	職員が連携して広報活動を行い、下記のとおり活動を行っているほか、副学院長を筆頭に、高校への訪問活動を通して高校との信頼関係維持に努めている。 1. オープンキャンパス 15 回実施／年間 参加者 314 名（昨年比 114 名増） 2. 進学相談会 73 回参加（昨年比 15 回増） 面談者 451 名（昨年比 278 名増） 進学相談会は学生と直接話することが出来る貴重な機会であるが、数年に渡り参加者が減少していたが、今年度は飛躍的に面談者数が増加した。 高等学校校内ガイダンス等、企業を選定し、学生がより多く出席する相談会をメインとして参加している。 3. 職業体験学習 (中学校) 参加校：6 校 参加者：28 名 (イベント企画) ジョブカフェ北海道 「お仕事スタートアップガイダンス」 参加者：17 名（千歳北陽高等学校） 4. 高等学校訪問 278 回実施(うち学生同行 20 校) 5. Instagram 投稿数：194 オープンキャンパスを含めて子どもたちへの職業周知を積極的に図っているほか、SNS での広報含め、若い世代に向けて最新情報をよりわかりやすく伝えている。	オープンキャンパスへの学生参加者数が増加し、学生誘致が成功したと言えるにもかかわらず他校と悩み、入学へ至らなかった原因を振り返り、対応していただきたい。 また、本年も定員充足には至らなかった点について、少子化により学生募集が厳しいものとなっているが、歯科衛生士科において特色はあるものの他校と比して飛び抜けた特徴があるとは言えず、対応として過去の経緯を検証し、学校の魅力が何なのか、札幌歯科医師会立である強み、伝統の力や学校の特色等を広く伝えていただきたい。 歯科技工士科については、道内 3 校では入学者数が 1 番多く、道内唯一デジタル技工をすべて完備している点（3D プリンター・CAD/CAM）が大きな特徴となり、学生募集への PR に大きく繋がっている。継続して職業周知に努めていただきたい。 国家試験合格率についても学生募集活動へ関わってくる問題であるため、合格率の向上・維持を期待している。
	9	資格取得、就職状況等の教育成果は正確に伝えられているか	3. 5		
財務	10	中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2. 2	定員に対し、入学者が 7 割と、昨年度より微減し、定員の充足は至っていないほか、在校生全体の充足率は 6 割であるため、財政基盤は安定的でない状況である。また、適宜設備の修繕費用が経常されており、大幅な経費の影響もあるが、歯科技工士科においては国家試験合格率が 10 年連続 100% となり、今後の学生募集活動へ大きく良い影響をもたらす実績ができた。 引続き、学生募集活動の充実化・退学希望者の減少・国家試験合格率の向上・支出等の見直しを行い、財務基盤の安定化に努める必要がある。	現状財務基盤が中・長期的に安定しているとは言えず、前年度に於いては会館大規模改修工事（外壁等）があったが、本年はアスベストの除去をしたものの、継続して大幅な赤字が継続している点について指摘があった。 学院部門のみならず、運営母体も含め全体の事業実施に係る赤字について予算・決算含め、改善していただきたい。
	11	予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2. 9	予算、収支計画については、審議項目が運営規程に明記されており、教職員会・運営委員会・理事会を通し、予算、収支計画が策定される。法人の総会においても承認されている。	
法令等の遵守	12	法令、専修学校基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3. 6	歯科衛生士・歯科技工士学校養成所指定規則に従い、届出等について、必要事項を掌握しており、今年度一部提出書類について煩雑な作業となり提出が遅れたものがあったが、適切に対応し、法令順守に努めている。	
	13	個人情報について保護対策が取られているか	3. 7	「札幌歯科学院専門学校における個人情報の取扱いについて」学院長が定めた規則に従い、本学院が保有する個人情報について管理者・管理方法・管理場所が明確となっており、学生等についても「個人情報に関する同意書・誓約書」を提出してもらっている。 実習施設との間で診療内容や個人情報の保護に関する誓約書を交わしており、学生にも十分注意をしている。昨年度において違反する学生はなかった。	
社会・地域貢献	14	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献をおこなっているか	3. 5	下記①～③により、小中高生に向けた歯科衛生士と歯科技工士の職業体験授業・イベントを行い、職業の認知・向上に努めている。 ①北海道私立専修学校各種学校連合会主催札幌市市教委	医療専門職としてボランティア精神を養うために、歯科関係以外のボランティアへの参加について検討いただきたい。

	15	生徒、学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3. 3	タイアップ事業「進路探求学習オリエンテーリング」を実施した。（参加校 3 校 計 3 名） ②ジョブカフェ北海道主催「お仕事スタートアップガイダンス」へ参画した. ③6 月に開催する「歯と口の健康週間事業」での口腔衛生に対する意識向上を図るイベントへの参画～さっぽろ歯っぴいらんど 2024～ 「歯科衛生士のお仕事体験」「歯科技工士のお仕事体験」（参加者：歯科衛生士 57 名、歯科技工士 35 名） 高齢者施設・障害者施設等における臨床実習を通じた市民の口腔衛生維持向上への貢献を行った.	
--	----	---------------------------	------	--	--

※「専修学校における学校評価ガイドライン」（文部科学省）を基に作成